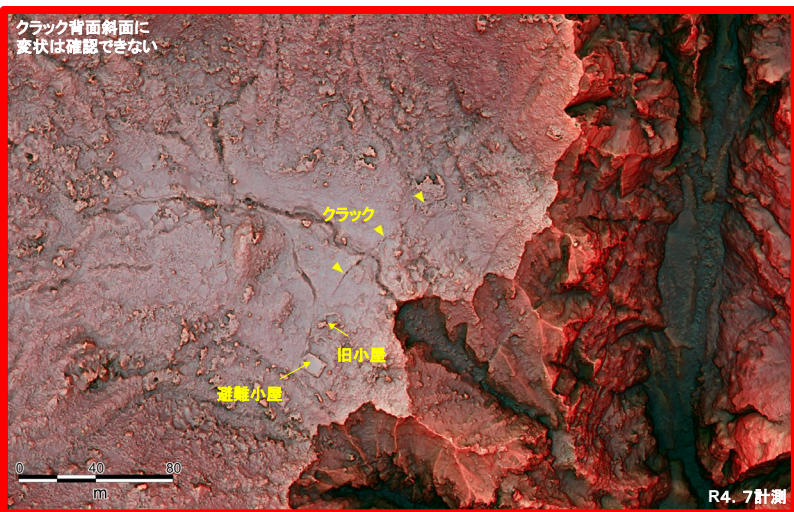
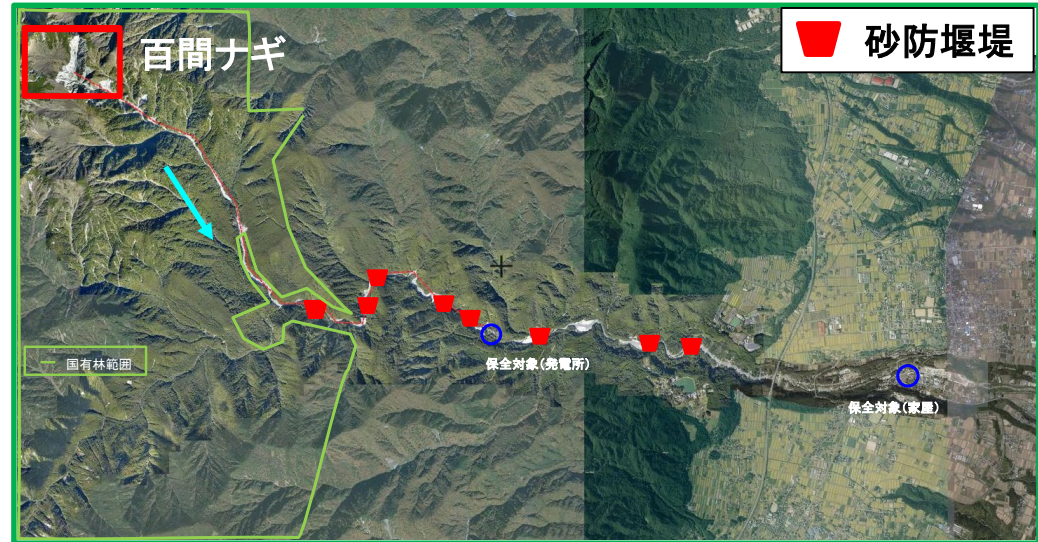
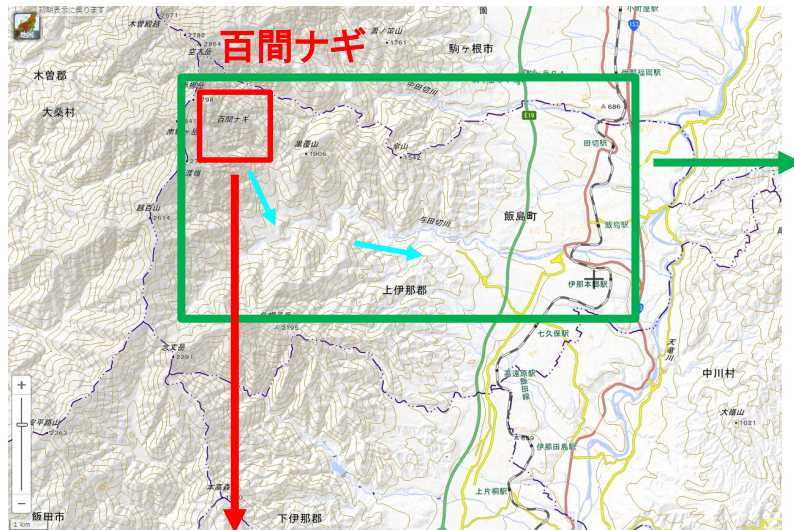


崩壊地「百間ナギ」で発生したクラックへの対応について

- 与田切川上流の崩壊地「百間ナギ」にて、7月24日に飯島町がクラックを発見。
- クラックを境界とする土塊の量は約30万m³。確認されるクラック以外に変状は認められない。
- 崩壊下流の既設砂防堰堤(国・8基)の空き容量(R3.10時点)は約46万m³。



○今後の予定
 ・既設砂防堰堤の空き容量をより確保するため、除石を行う。